

逗子市議会議員 長島有里の

報告 市政

発行：長島有里事務所
〒249-0007
逗子市新宿1-4-30
046-876-5802（電話/FAX）
E-mail
yuri_nagashima@yahoo.co.jp

皆さまのご意見
お待ちしております！



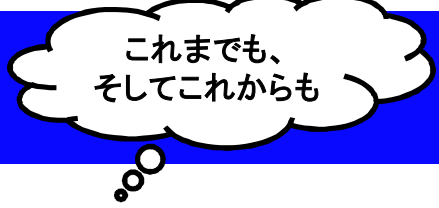
長島 有里

ながしま ゆり

1978年生まれ 35歳
逗子市議会議員2期目
鎌倉高校卒・立教大学法学部卒
横浜市立大学大学院修了
(研究テーマは景観まちづくり)
総務常任委員長 議員検定一級
会派：市政クラブ 2児の母

長島有里の重点取り組み

議員として・女性として・ママとして



【子育て支援策】



- 待機児童対策(公立保育園の定員数90名→105名まで拡充)
- 病児保育(2014年～ファミリーサポート事業で開始予定)
- 学童保育の整備(2011年全小学校区5つの学童保育整備完了)
- 児童虐待対策(通報時48時間以内の安否確認の徹底、2013年保護された児童数6名)
- 里親制度の周知推進(2013年12月児童相談所による相談会実施)
- 学校支援地域本部※1(2009年全小中学校8校に立ち上げ)
- 子育て情報ポータルサイト(2014年～開始予定)
- 中学校給食(2014年10月～開始予定)
- 公立中学校でのキャリア教育(職場体験受け入れ先の増2009年130ヶ所→2012年156ヶ所)

【行財政改革】



- 滞納者のインターネット公売※3(2011年実施市税徴収率は94.7%→2012年95.4%に0.7%up、概算で7000万円の市税増)
- 一社見積もりの禁止・入札改革(2012年度～2カ年で約6.7億円の入札差金)
- 民間委託の推進(2009年浄水管理センター、正規職員約20名→2013年3名までに減・2014年4月～文化プラザホール、逗子アリーナが指定管理)
- 公共施設のスクラップ&ビルド(2014年池子市営住宅完了に伴い市内の市営住宅の統廃合進行中)

【防災対策】



- 防災キャンプ・夜間防災訓練の実施(2013年10月池子小学校)
- 放射能対策セミナーの実施(2011年10月、2012年2月)
- 津波避難ビルの拡充(震災前4棟→2013年12月時点42棟に増)
- 防災無線の見直し(スピーカ数49ヶ所→53ヶ所、震度4以上の警報発令体制を強化)

【文化政策】



- アートフェスティバルの推進(2013年秋プレアートフェスを開催)
- シナリオ大賞の復活(2009年)
- 映画やドラマのロケ誘致(2010年度～3カ年で撮影実績304件、経済効果は約16億3668万円)
- 文化イベントのSNS発信(2013年～イベント情報などfacebook開始)

【景観まちづくり】



- 電線地中化の推進(2010年市役所前55号線294.45m施行、2014年池田通り工事中)
- 海の家の景観誘導(2013年県の屋外広告物条例による看板の景観指導実施)
- 逗子駅周辺の景観誘導(市の景観条例により2㎡以上の看板は色彩規制)
- 交通規制による歩行空間の確保(2012年9月シンボルロード480mの朝の通学時の車両通行規制)
- スーパー新設に伴う駅周辺の交通渋滞解消策(2013年10月交通量調査、現在データ解析中)

【高齢者福祉】



- 介護予防事業に社交ダンスを導入(2011年開始、効果が評価され鎌倉市に波及)
- 高齢者虐待防止窓口の設置(2010年から4年間で通報件数41件、保護された方4名)
- 高齢者の雇用拡充(パブリックサービスの雇用人数の増2010年94名→2012年105名)
- 特別養護老人ホームの誘致(2014年5月100床開設予定)



【議会改革】



- タブレット端末導入によるペーパーレス化(第8回マニフェスト大賞受賞)
- 議員定数削減(2013年定数20名→18名に)
- 議会基本条例制定※2(2014年制定予定)
- 政務活動費の使途HP公開(2010年)



【長島有里が提案し検討中のもの】

- コンビニでの住民票発行
- ひとり親家庭の市営住宅優先枠
- 野外活動センターの再活用
- 障がい者雇用促進セミナー
- 認知症予防対策

なお、ここに記載した政策は、思いを同じくする議員と一緒に行政に訴え、また政策の実施にあたっては市民の方が主体的に動いたものもあります。これからも市民の皆さんと協働して、税金がより効果的に活用されるよう尽力してまいります。

議員として、私の「志」とそのモチベーション

「守る」から「景観形成」へ

私自身が議員になって8年が経ちます。私は市民の皆様から付託を受けて、私の使命だと思っていることがあります。ひとつは、逗子の環境を守り、秩序ある街並みを形成していくこと。逗子は日本でも最も規制が厳しいまちづくり条例を有していますが、現状を維持するだけでなく、まちのあるべき姿に誘導していくことです。電柱のない景観、統一された看板やサインなど、将来にわたって次世代に継承すべき逗子の環境を向上させなければなりません。

この任期中は大学院に在籍し、具体的な景観誘導策の研究にも取り組んできましたが、専門的な知見を活かし、景観行政をリードしていきます。

「ムダ」から「より効果的な活用」へ

逗子市民は住民一人当たりの個人住民税では全国トップクラス。高額所得者が多いことの証でもあるのですが、日本の税制上、逗子市民は多くの税金を支払う割には受けるサービスが相対的に少ないのです。

議員の使命には行政の監視機能があります。この間、行政の内部事情に精通するひとりとして、官製談合を誘発する1社独占見積もりを辞めさせるなど行政にメスを入れてきました。この2年間だけで、約6.7億円の入札差金が生じました。

その他にも、議会の電子化によるペーパーレス化を行政にも波及させ、さらに税金のムダ全廃に取り組むたいと考えます。同じ金額でも、より効果的な税金の使い道を提言していきます。

「着想」から「実行」へ

海岸のトイレの改修に4年、JR逗子駅のエスカレータに8年。私の議員経験は8年ですが、夫が逗子市長をしていた時から行政がやることには大変な時間がかかることを常日頃聞いてきました。これは役所が怠けているということではなく、縦割りの弊害、担当者の異動、関係機関への調整などなど・・・行政特有の事情があるからです。

例えば、保育園児が高熱を出して預けることができない時に子供の面倒を見てもらえる「病児保育」の取り組みも、私が議会で取り上げてから6年かかってようやく実現の運びとなりました。市民の声や自らの発想を政策実現するために、繰り返し、市議会での質疑で取り上げ、関係機関に調整をしていくそんな粘り強さが求められます。

「課題地域」から「先進モデル」へ

今年の夏には、逗子市の高齢化率が30%に到達することが予測されます。長寿のまちとして喜ばしいことですが、問題は特別会計（下水道事業を除く）への一般会計からの繰出金が2014年度は約15億円にも及び財政の硬直化を招いていることです。

介護保険料の値上げ幅も大きくならざるを得ません。昨年からは企業の法定雇用義務が65歳になりましたが、元気なシニアの方々が退職後、地域力になることができるかどうか重要な鍵を握っています。

生涯現役で地域で社会貢献できる仕組みづくりをすること。ボランティアのマッチングにも尽力していきたいと考えています。

◎雑誌『日経グローバル』
(2013年8月号)
奮闘地方議員コーナー掲載
『IT活用、市民と情報共有へ』



◎雑誌『AERA』
(2012年9月号)
民主党女性議員特集



皆様からのご意見、ご要望はこちらまで



Fax 046-876-5802

E-mail yuri_nagashima@yahoo.co.jp



ご意見はすべて
目を通しています！

4年間の政治活動費の内訳

<収入>

政党からの交付金 520,000円

自己資金 500,000円

<支出>

政党への会費 480,000円

人件費消耗品費 63,169円

調査研究費 126,604円

広報費 186,227円

議会で登壇した質問回数 12回

(代表質問含む)



政治献金は8年間一切受け取っていません。

これからもクリーンでオープンな政治を実現します。

長島有里